

遂に発進! 甲府工業高校専攻科創造工学科



令和2年5月25日、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受け当初の予定より大幅に遅れましたが、いよいよ本校全日制の専攻科創造工学科がスタートしました。

中止となった入学式・開科式に代わり、オリエンテーションからのスタートとなります。真新しいスーツに身を包んだ学生22名(機械系コース15名、電子系コース7名)が、これからこの学び舎で青春の火花を散らし爆発的成長を遂げることでしょう。

本学科の修業年限は2年で、学期は前期と後期の二学期制を採用し、授業の1コマは90分となっています。

学校での授業と、企業での実習を組み合わせた「デュアルシステム」を採用し、より実践に即した形での技術、技能の習得が可能になります。

また、SPH事業の一つとして、県内企業での2泊3日に渡る機械加工の研修が予定されています。より深い内容に踏み込んだ研修でより一層の技術力の向上を図ります。



さらに課外活動の目玉として、レーシング・チームを立ち上げ、「ソーラーカーレース鈴鹿」への参戦を目指します。加工技術や、制御技術等を総動員しての熱い戦いが、学生達をさらなる次元へといざなっていくものと考えられます。

その他にも様々な取り組みを通して、設計力を持ったリーダー的な技術者を育成し、山梨の希望となり、未来となり、光となる人材の育成を目指します。その遥かなる航海に、コロナの波を受けながらの出航となりました。

実習設備紹介

創造工学科に導入された最先端の実習設備についてその一部を紹介して行きます。また、オープンキャンパス用の動画も併せてご覧ください。 →



アマダ製 炭酸ガスレーザー加工機 Quattro(1kw)

エネルギー変換効率の高い炭酸ガスレーザー光を用いて、任意の形に鉄板等を切り抜いたり、マーキングすることができる数値制御機器です。

ファナック製 ロボドリル

α-D14MiB5 (3軸仕様、5軸仕様)

いろいろな形状のドリルを使い、金属を切削加工する機械です。使いやすさ、高い加工性能など、多くの企業で使用されている数値制御機器です。また、5軸仕様の機械では1度のチャッキングで5面の加工が可能となります。



牧野フライス製作所製 5軸マシンングセンタ D200Z

3次元の複雑な形状の工作物を加工したり滑らかな加工面に仕上げるなど、自動車、医療など多くの産業分野で使われている数値制御機器です。



新興技術研究所製 小型FAライン実習装置 MM3000-EP

自動化生産ラインをコンパクトに再現したものです。4つのステーションから構成され、各ステーションの連携により、より高度な実習が可能となります。



SPH川柳

突き進め
技術の世界を
専攻科